

■四国横断自動車道（中土佐 I C～四万十町中央 I C）12月9日（日）開通

国土交通省中村河川国道事務所及び土佐国道事務所が整備を進めている四国横断自動車道中土佐 I C～四万十町中央 I C間（L = 14.8 km）が暫定2車線で開通しました。今回の開通により、速達性が高く災害時においても信頼性が確保できる「四国8の字ネットワーク」が四万十町まで延伸し、高知市から四万十町までの約60 kmが自動車専用道路でつながります。

■高知西バイパス（天神 I C～鎌田 I C）12月22日（土）開通

国土交通省土佐国道事務所が整備を進めている高知西バイパスは国道33号における慢性的な交通渋滞の解消や幅員狭小区間の回避、安全性の向上を目的に計画された道路です。

このうち天神 I C～鎌田 I C間（L = 1.1 km）が12月22日（土）に開通します。

■平成24年度第3回災害対策等緊急事業推進費の執行について

九州北部豪雨（平成24年7月）を含む梅雨前線による豪雨等により被害を受けた地域、山形県や沖縄県で強風に伴う波浪（平成24年4月、8月、9月）により被害を受けた地域等において、災害対策等緊急事業推進費を執行し、再度災害を防止するための事業（31件）を緊急に立ち上げ実施します。

平成24年度 第3回災害対策等緊急事業推進費 執行額
災害対策（31件） [国費] 9,959百万円

その内、四国地方整備局管内においては、一般国道55号高知県安芸郡東洋町ゴロゴロ地区において法面对策を実施します。〔46百万円（国費）〕

■平成24年度経済危機対応・地域活性化予備費使用（第2弾）の概要について

平成24年度予備費使用（第2弾）については、

1. 大規模災害に備えた防災・減災対策として、河川等の緊急風水害・土砂災害対策及び道路・港湾の緊急老朽化対策等に必要な経費（国費：180億円）
2. 「日本再生戦略」における施策の実現前倒しとして、通学路の緊急合同点検結

果に基づき緊急対策及び国際競争力強化や防災・減災等に資する社会資本整備総合交付金に必要な経費（国費：326億円）が計上されています。

（うち四国地方整備局関係）

予備費使用額 約45.0億円（事業費）

（直轄 約1.2億円・補助 約43.8億円）

詳細につきましては、下記ページをご覧ください。

(http://www.skr.mlit.go.jp/infomation/yosanngaiyo24/yobihhi_2_pdf/1.pdf)

■『DIGファシリテーター養成講座 in 黒潮町』の開催について【企画部 防災課】

南海トラフ巨大地震への備えのひとつとして、「災害を知る」、「まちを知る」、「人を知る」を基本に、「災害時にどのように考えて行動すれば良いか」を考え地域の防災意識を高めることが求められています。

このたび、高知県幡多郡黒潮町において、講師に富士常葉大学環境防災学部 小村准教授を招き、町内消防団、自主防災組織、婦人会、町職員等、約50名の参加のもと、地域住民が防災リーダーとなってDIGを実施し、地域の防災意識を高めてもらうようDIGファシリテーター養成講座を開催しました。

「直接死を避けるために」、「間接死を避けるために」、「コミュニティの崩壊を避けるために」、「次の世代にどう黒潮町を渡すのか」という4つのテーマについて、班別に分かれ参加者全員で議論し、防災意識の向上及び災害対応のイメージの共有を図りました。

※DIG（災害図上訓練：Disaster Imagination Game）とは、大きな地図を参加者で囲み、語り合いながら災害対策のイメージトレーニングを実施するものであり、地域、学校、事業所で実施することにより課題の発見やコミュニティ作りに役立つとされています。